

（仮称）高蔵寺リ・ニュータウン計画 （骨子案）



市では、少子高齢化、人口減少といった課題に対応し、来るべき未来に向け、高蔵寺ニュータウンが「いつまでも安心して快適に住むことができるまち」であり続けるために、実現性が高いプロジェクトと夢や希望を抱くことができる展望を併せ持つ高蔵寺ニュータウン未来プランの策定を進めています。

策定にあたっては、有識者や公募委員、地域住民などで構成する「春日井市高蔵寺ニュータウン未来プラン策定検討委員会」において検討をされており、このたび、骨組みとなる大まかな案である骨子案を作成しました。

この骨子案をお読みいただき、ご意見やご提案等がございましたら、必ず、お名前とご連絡先（ご住所、お電話番号）を記入いただき、12月11日（金）までに下記へお送りください。

郵送、ファックス、E-mailのほか、直接持参でも結構です。

宛先：春日井市企画政策部ニュータウン創生課

〒486-8686 春日井市鳥居松町 5-44

TEL 0568-85-6048

FAX 0568-83-9988 E-mail nt-sosei@city.kasugai.lg.jp

目 次

第1 高蔵寺ニュータウンの現状と課題	1
1 高蔵寺ニュータウンの概要	1
2 歴史とこれまでの取組	1
3 現状と課題	1
第2 高蔵寺リ・ニュータウン計画	2
1 基本理念と目標	2
2 先導的なプロジェクト	3
3 課題に応じた主要な施策	3
4 計画の推進と見直し	3

第1 高蔵寺ニュータウンの現状と課題

1 高蔵寺ニュータウンの概要

○高蔵寺ニュータウンの位置、基本諸元、構成

2 歴史とこれまでの取組

- (1) 開発の背景と経緯
- (2) 春日井市の取組
- (3) 諸機関・団体の取組

3 現状と課題

- (1) 高蔵寺ニュータウンの特性と周辺との関係
- (2) 人口・世帯の動向
- (3) 住宅・土地の状況
- (4) 交通の状況
- (5) 商業・工業の状況
- (6) 公共公益施設の状況
- (7) 社会基盤施設の状況
- (8) 自治組織・市民団体の状況
- (9) 防災・防犯の状況
- (10) 住民意識への対応

第2 高蔵寺リ・ニュータウン計画

1 基本理念と目標

(1) リ・ニュータウンの基本理念

ア リ・ニュータウンの定義

計画的に整備されたニュータウンの成熟した資産(ストック)を活かしつつ、更新(リノベーション)を重ねながら新たな価値を創造し、新たな若い世代への居住の魅力と全ての住民への安心を提供し続ける持続可能なまちであることを表している。

イ 7つの基本理念

- 成熟した資産の継承
- 公共施設・生活利便施設の集約化とネットワークの構築
- 多様性の確保
- 住民・事業者・市の協働
- 持続可能な都市経営の仕組み
- ニュータウンを核とした周辺・広域との連携強化
- まちの新たなブランド力の創造

(2) 目標

ア 人口・世帯の目標

イ 主な成果指標

(3) 計画期間

平成28年度から10年間

(4) 計画区域

高蔵寺ニュータウン(日本住宅公団春日井都市計画高蔵寺土地区画整理事業区域)

2 先導的なプロジェクト

(1) 先行プロジェクト

- ア 旧小学校施設（旧藤山台東小学校）を活用した多世代交流拠点の整備
- イ 民間活力を導入した高蔵寺駅北口周辺の再整備

(2) 展開プロジェクト

- ア 交通結節拠点を核とした快適移動ネットワークの構築
- イ センター地区の商業空間の魅力向上と公共サービスの充実
- ウ スマートウェルネスを目指した団地再生の推進

(3) 情報発信プロジェクト

- ア ニュータウン・プロモーション
- イ ニュータウンまるごとミュージアム「住まいとまちの博物館」

3 課題に応じた主要な施策

- (1) 住宅・土地の流通促進と良好な環境の保全・創造
- (2) 身近な買い物環境の整備と多様な移動手段の確保
- (3) 子育て・医療・福祉の安心の向上
- (4) 既存資産（ストック）の有効活用による多様な活動の促進
- (5) ニュータウンを超えた広域的なまちづくりの推進

4 計画の推進と見直し

- (1) まちづくりの担い手の形成
- (2) 多様な主体の主体的な取組と相互の連携の推進
- (3) 計画の推進と見直しの仕組み